

閉校した学校が新たな施設へと生まれ変わる



①小学校当時の外観はそのままに②施設内での作業の様子③談話室は地域の会合などの場に④地域の人も利用できる体育館⑤災害備蓄品を常備

旧桜田小学校の校舎や体育館などが活用され、障害福祉サービス事業所「ネクスト桜田小」が本年4月に全面オープンしました。ここでは施設の概要を紹介します。

閉校した学校が 障害福祉サービス事業所に

令和3年3月に閉校した桜田小学校。市では、学校跡地の活用について地域と協議を行い、民間事業者に貸し出すこととし、利活用事業者を選定しました。

そして、旧桜田小の校舎や体育



館などが再利用され「ネクスト桜田小」として生まれ変わり、本年4月に全面オープンしました。

ネクスト桜田小は、主に知的障がいのある18歳以上の人を対象とした障害福祉サービス事業所(生活介護事業所)です。

福祉施設として活用していくための改修工事などが行われましたが、外観や一部の部屋は、小学校当時の面影が残るように工夫されています。

地域に密着した施設を 目指して

ネクスト桜田小では、元校長室や元音楽室などの一部の教室を、地域の人が会議や活動の場として利用できるよう開放しています。

施設周辺の清掃や草刈りなどは事業の一環として事業者が行い、地域の環境美化に貢献しています。

また、災害時に周辺地域から避難者を受け入れるための災害備蓄品を常備するなど、地域に密着した施設を目指しています。

施設の概要

○職員室：職員がいるので、施設を利用する際に声を掛けてください

○談話室：地域の会合や談話の場として利用できます

○体育館：地域の人が利用できるほか、選挙の際は投票所として活用されます。災害時には指定避難所となります

○校庭：子どもたちの遊び場や地域行事などに利用できます。災害時には指定緊急避難場所となります

利活用事業者：社会福祉法人菜の花会

開館時間：月～金曜日 午前8時～午後5時

※くわしくは、施設の利用についてはネクスト桜田小(☎85・5689)、学校跡地利活用については企画政策課(☎20・1500)へ。